

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 16	21	百日咳	↓ 2	5
RSウイルス感染症	→ 0	0	ヘルパンギーナ	↑ 189	164
咽頭結膜熱	↑ 23	21	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 9	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 120	112	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 337	411	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 20	21
水痘	↓ 66	67	細菌性髄膜炎	↑ 1	0
手足口病	↑ 81	66	無菌性髄膜炎	↓ 0	3
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 1	2	マイコプラズマ肺炎	↓ 0	2
突発性発しん	↑ 49	39	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓ 4	7

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池、有明
 ヘルパンギーナ : 菊池、宇城
 百日咳 : 菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	1		12	46	61	19	15		16		53	5		17	1					
山鹿保健所			1	6	6	3	1		2		1		*	*						
菊池保健所	1		4	18	68	6	6	1	8	2	61	1								
阿蘇保健所				3	3						1		*	*						
御船保健所				2	4		1				1		*	*						
八代保健所				12	23	8	10		6		5									
水俣保健所			2	2	7	2	6				6	2	*	*						3
人吉保健所	4			3	40	3	3		5		15		*	*						1
有明保健所				8	70	17	23		3		9			1						
宇城保健所			1	18	35		5		7		27		*	*						
天草保健所	10		3	2	20	8	11		2		10	1		2						
計	16		23	120	337	66	81	1	49	2	189	9	0	20	1	0	0	0	0	4

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	16		1		1		3		1		1		5			2	1					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	23		3	6	2	7	2		1		1				1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120		1	3	10	13	22	13	12	8	12	12	6	1	7							
感染性胃腸炎	337	5	39	52	33	30	41	19	19	11	10	19	36	2	21							
水痘	66	2	1	9	16	13	13	5	3	1	3											
手足口病	81	2	6	28	19	17	5	4														
伝染性紅斑	1			1																		
突発性発しん	49		25	20	2	2																
百日咳	2												2									
ヘルパンギーナ	189		28	54	40	34	12	8	7	4	1		1									
流行性耳下腺炎	9					2	2	1	2		2											
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	20							1						1	2	3	4	4			5	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1															1						
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4		4																			

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎に注意しましょう



今週のA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数は120件と増加しており、幼児~学童のお子さんからの報告が多くなっています。警戒レベルに達している地域はありませんが、宇城、菊池、八代、山鹿で報告が多くなっています。全国の感染症発生動向調査でも、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっていますので注意が必要です。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎とは、A群連鎖球菌という細菌が感染することにより、高熱、のどの痛みを主症状とする急性の感染症です。いずれの年齢でも起こり得ますが学童期のお子さんに多く、春から夏、及び冬の2つの時期をピークとして流行がみられます。主な症状はおおよそ1週間ほどで改善しますが、リウマチ熱(主な症状として高熱、関節炎、紅斑、心炎)や急性糸球体腎炎(肉眼的血尿、高血圧、むくみ)などの合併症をおこすことがありますので注意が必要です。手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効ですので、しっかり行って予防に努めましょう。

潜伏期 2~5日間

感染経路 せきやくしゃみなどに含まれる細菌によって感染します(飛沫感染)。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します(接触感染)。

主な症状 突然の発熱、のどの痛みや腫れ、嘔吐がみられます。感染1~4週間後にリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの合併症を起こすことがあります。

治療 抗生剤の投与を行います。有効な抗生剤の治療を開始後、24時間経過すれば人へのうつる可能性はほとんどなくなります。合併症を防ぐため、症状が改善しても病院の先生が指示する期間は抗生剤を服用してください。

予防法 手洗い、うがいなどの一般的な予防対策が有効です。咽頭痛がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。



KKT医療ナビ! Dr. Televitan

http://www.dr-tvtan.jp/

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課